

# 除票用データベース

- データ構造の標準化のうち、除票用データベースの具体的な内容を定める。
- 住民記録システム標準仕様書第5章データ要件30.1データ構造に挿入予定。（仕様書に位置付ける）

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
1	識別番号	X	15	1	Y		自治体内で人を統一的に管理する番号 右詰め残り前「0」
2	改製番号	9	5	2	Y		住民票世代単位に、古い順からカウントアップ。
3	個人履歴番号	9	10	3	Y		識別番号単位に、履歴の古い順からカウントアップ。
4	枝番号	9	5	4	Y		誤記修正等がどの異動履歴に対して行われたのかわかる形で管理するもの。識別番号・改製番号・個人履歴番号の単位で1から付与。管理していない場合および既定初期値は「1」。
5	世帯番号	X	15		Y		住基世帯を管理する番号 右詰め残り前「0」
6	住民種別	X	1		Y	住民種別	人の種別（日本人住民・外国人住民）を表す区分
7	住民状態	X	2		Y	住民状態	人の状態（住民・転出・死亡・消除等）を表す区分
8	住民票コード	X	11		Y		住民基本台帳ネットワークの管理番号 有効桁数=11
9	個人番号	X	12				番号法に基づき個人に付番される「個人番号」 有効桁数=12
10	異動日	X	8		Y		年（西暦年）＋月（右詰め残り前「0」）＋日（右詰め残り前「0」）
11	異動日不詳フラグ	X	1				異動日が不詳日を示す形式である場合のみ、「1」。
12	異動日不詳表記	N	36				異動日不詳フラグが「1」の場合、異動日の表記文字を設定。例：令和〇〇年〇月下旬頃
13	届出日	X	8				当該異動の届出・申出・請求の日。
14	異動事由	X	2		Y	異動事由	異動事由を示すコード
15	異動事由表記	N	30		Y		異動事由の表記名称
16	届出区分	X	2			届出区分	届出（届出、申出、通知、など）の区分
17	届出表記	N	15				届出区分の表記名称
18	氏名漢字	N	300				住民票の氏名
19	氏名英字	N	300				外国人住民のアルファベット氏名
20	氏名フリガナ	N	300				氏名のフリガナ（全角カナ）
21	氏名フリガナ確認状況	X	1				本人に確認できていなければ「1」
22	旧氏	N	20				
23	旧氏フリガナ	N	20				旧氏のフリガナ（全角カナ）
24	旧氏フリガナ確認状況	X	1				本人に確認できていなければ「1」
25	通称	N	300				
26	通称フリガナ	N	300				通称のフリガナ（全角カナ）
27	通称フリガナ確認状況	X	1				本人に確認できていなければ「1」
28	氏名優先区分	X	1			氏名優先区分	氏名・通称のいずれを使用するかの区分
29	性別	X	1		Y	性別	住民票の性別のコード
30	性別表記	N	10				住民票の性別の表記文字
31	生年月日年号	X	1		Y	年号	生年月日の年号コード 外国人の西暦は「9」。
32	生年月日	X	8		Y		年（西暦年）＋月（右詰め残り前「0」）＋日（右詰め残り前「0」）

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
33	生年月日不詳フラグ	X	1				生年月日が不詳日を示す形式である場合のみ、「1」。
34	生年月日不詳表記	N	72				生年月日不詳フラグが「1」の場合、生年月日の表記文字を設定。例：不詳
35	続柄1	X	2			続柄	住民票の世帯主との続柄：1世代
36	続柄2	X	2			続柄	住民票の世帯主との続柄：2世代
37	続柄3	X	2			続柄	住民票の世帯主との続柄：3世代
38	続柄4	X	2			続柄	住民票の世帯主との続柄：4世代
39	続柄表記	N	20				続柄の表示文字
40	世帯主氏名漢字	N	300				世帯主の氏名
41	世帯主氏名英字	N	300				外国人住民の場合のアルファベット氏名
42	世帯主氏名フリガナ	N	300				世帯主氏名のフリガナ（全角カナ）
43	住所_コード	X	30				全国的に提供される住所辞書の住所コードの利用を想定。
44	住所_区コード	X	10				政令市の管轄区を示すコード
45	住所_住所	N	300				住所を都道府県からセットする。
46	住所_方書	N	300				方書を別管理している場合、方書をセットする。
47	住所_郵便番号	X	10				ハイフン無しの郵便番号。
48	住民となった年月日	X	8				住民となった年月日
49	住民年月日不詳フラグ	X	1				住民となった年月日が不詳日を示す形式である場合のみ、「1」。
50	住民年月日不詳表記	N	36				住民年月日不詳フラグが「1」の場合、住民となった年月日の表記文字を設定。例：不詳
51	住民となった届出日	X	8				増異動の届出日
52	増異動事由	X	2			異動事由	住民となった異動の事由のコード
53	増異動事由表記	N	30				異動事由の表記名称
54	転入前住所_コード	X	30				全国的に提供される住所辞書の住所コードの利用を想定。
55	転入前住所_住所	N	300				転入前住所をセットする。未届転入の場合は（未届）を付与してセットする。（方書と連結する場合は、転入前住所_方書と合わせ末尾に（未届）を付与）
56	転入前住所_方書	N	300				方書を別管理している場合、方書をセットする。
57	転入前住所_郵便番号	X	10				ハイフン無しの郵便番号。
58	最終登録住所_コード	X	30				未届転入時に記録する最終登録住所地の住所コード。全国的に提供される住所辞書の住所コードの利用を想定。
59	最終登録住所_住所	N	300				未届転入時に記録する最終登録住所地の住所
60	最終登録住所_方書	N	300				方書を別管理している場合、方書をセットする。
61	最終登録住所_郵便番号	X	10				ハイフン無しの郵便番号。
62	住所を定めた年月日	X	8				住所を定めた年月日
63	住定年月日不詳フラグ	X	1				住所を定めた年月日が不詳日を示す形式である場合のみ、「1」。

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
64	住定年月日不詳表記	N	36				住定年月日不詳フラグが「1」の場合、住所を定めた年月日の表記文字を設定。例：不詳
65	住所を定めた届出日	X	8				住所を定めた異動の届出日
66	住所を定めた事由	X	2			異動事由	住所を定めた異動の事由のコード
67	住所を定めた事由表記	N	30				異動事由の表記名称
68	本籍	N	300				住民票の本籍
69	本籍住所コード	X	30				全国的に提供される住所辞書の住所コードの利用を想定。
70	本籍郵便番号	X	10				ハイフン無しの郵便番号。
71	筆頭者	N	300				住民票の筆頭者
72	消除異動事由	X	2			異動事由	消除の異動事由コード
73	消除異動事由表記	N	30				異動事由の表記名称
74	消除届出日	X	8				消除の届出日
75	事由の生じた年月日	X	8				消除の事由の生じた年月日。転出の場合にあっては、転出予定年月日。
76	事由年月日不詳フラグ	X	1				事由の生じた年月日が不詳日を示す形式である場合のみ、「1」。
77	事由年月日不詳表記	N	36				事由年月日不詳フラグが「1」の場合、事由の生じた年月日の表記文字を設定。例：不詳
78	転入通知年月日	X	8				
79	転出年月日	X	8				
80	転出予定_住所コード	X	30				転出予定の住所のコード。 全国的に提供される住所辞書の住所コードの利用を想定。
81	転出予定_住所	N	300				転出予定の住所
82	転出予定_方書	N	300				方書を別管理している場合、方書をセットする。
83	転出予定_郵便番号	X	10				ハイフン無しの郵便番号。
84	転出確定_住所コード	X	30				転出確定地の住所のコード。 全国的に提供される住所辞書の住所コードの利用を想定。
85	転出確定_住所	N	300				転出確定地の住所
86	転出確定_方書	N	300				方書を別管理している場合、方書をセットする。
87	転出確定_郵便番号	X	10				ハイフン無しの郵便番号。 設定されている場合のみ。設定できてないデータの場合に導出して登録する必要はない。
88	外国人住民年月日	X	8				外国人住民となるために異動した日付
89	外国人住民年月日不詳フラグ	X	1				外国人住民年月日が不詳日を示す形式である場合のみ、「1」。
90	外国人住民年月日不詳表記	N	36				外国人住民年月日不詳フラグが「1」の場合、外国人住民年月日の表記文字を設定。例：不詳
91	外国人住民届出日	X	8				外国人住民となることを届け出た日付
92	旧外登法登録年月日	X	8				旧外登法の登録年月日

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
93	旧外登法不詳フラグ	X	1				旧外登法の登録年月日が不詳日を示す形式である場合のみ、「1」。
94	旧外登法不詳表記	N	36				旧外登法不詳フラグが「1」の場合、旧外登法登録年月日の表記文字を設定。例：不詳
95	在留カード等番号	X	12				在留カード等番号 有効桁数=12
96	在留カード等番号区分	X	2			在留カード等番号区分	在留カード等番号区分
97	国籍コード	X	3			国籍コード	国籍コード
98	国籍名	N	100				国籍コードの名称
99	第30条45規定区分	X	1			第30条45規定区分	住民票の外国人の区分（コード）
100	第30条45規定区分名称	N	50				第30条45規定区分の名称
101	在留資格コード	X	3			在留資格コード	外国人に与えられた在留資格（コード）
102	在留資格名称	N	50				在留資格コードの名称
103	在留期間コード年	X	2				在留期間コードの年部分。
104	在留期間コード月	X	2				在留期間コードの月部分。
105	在留期間コード日	X	3				在留期間コードの日部分。
106	在留期間終日	X	8				
107	国籍喪失日	X	8				国籍喪失日。 第30条45規定区分が（国籍喪失による経過滞 在者）の場合に使用する。
108	統合記載欄B類型1	N	100				統合記載欄のB類型として記載するもの
109	統合記載欄B類型2	N	100				統合記載欄のB類型として記載するもの
110	統合記載欄B類型3	N	100				統合記載欄のB類型として記載するもの
111	履歴選択不可フラグ	X	1				統合記載欄の備考履歴として選択できない異 動レコードである場合、「1」。
112	氏名のカタカナ表記	N	200				統合記載欄Cタイプの外国人住民の氏名のカ タカナ表記。
113	事実上の世帯主氏名	N	300				統合記載欄Cタイプの事実上の世帯主氏名。
114	統合記載欄C類型1	N	100				統合記載欄のC類型として記載するもの
115	統合記載欄C類型2	N	100				統合記載欄のC類型として記載するもの
116	統合記載欄C類型3	N	100				統合記載欄のC類型として記載するもの
117	備考欄1	N	100				標準仕様未対応の住民記録システムにて異動 入力されたデータにおいて、統合記載欄3類 型に分けることは容易ではない場合に格納で きる備考項目。
118	備考欄2	N	100				標準仕様未対応の住民記録システムにて異動 入力されたデータにおいて、統合記載欄3類 型に分けることは容易ではない場合に格納で きる備考項目。
119	抑止フラグ	X	1			抑止フラグ	除票の写し、除票記載事項証明の発行抑止の フラグ。発行抑止の場合、「1」。
120	メモ	N	2000				メモ文字列。メモの管理は異動単位ではなく 識別番号単位である場合もあるので、その場 合は当テーブル登録時にメモを登録最新レ コードに設定しておくこともよい。
121	管轄支所コード	X	3				住民票原票を管理している部署の識別。また は市町村合併で無くなった市町村の除票の管 理判別項目の用途で利用。
122	処理年月日	X	8				住記システムで当該異動を行った日付
123	登録年月日	X	8	Y			除票用データベースに登録した日付

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
124	選挙資格有無区分	X	1			有無	以降、項番124～275の項目について、項番123までの住記異動履歴時点でのデータのセットアップが難しい場合は、最新除票データに対して最終管理状態を格納する。 選挙資格の有無
125	国保資格有無	X	1			有無	国保資格の資格有無
126	国保資格区分	X	1			国保資格区分	国保資格を表すコード
127	国保資格取得年月日	X	8				都道府県における国保資格の取得日を西暦年月日
128	国保資格喪失年月日	X	8				都道府県における国保資格の喪失日
129	国保適用開始年月日	X	8				所属市町村内において、国保の適用を開始した日
130	国保適用終了年月日	X	8				所属市町村内において、国保の適用を終了した日
131	国保退職区分	X	1			退職区分	国保退職資格を取得しているかどうかを表す
132	国保退職該当異動日	X	8				退職者医療に該当した日付
133	国保退職非該当異動日	X	8				退職者医療に非該当になった日付
134	後期高齢有無	X	1			有無	後期高齢の資格の有無
135	後期被保険者取得日	X	8				後期高齢者医療の資格を取得した日付
136	後期被保険者喪失日	X	8				後期高齢者医療の資格を喪失した日付
137	介護有無	X	1			介護保険資格区分	識別番号で特定される個人が、介護保険の資格を保有しているか否かを設定する。また、資格保有者の場合、第1号被保険者が第2号被保険者かを設定する。
138	介護被保資格取得日	X	8				介護保険資格を取得した年月日
139	介護被保資格喪失日	X	8				市外への転出、死亡等の事由により、当該個人が介護保険の被保険者資格を喪失した年月日を記載
140	年金有無	X	1			有無	国民年金資格の有無を表す
141	基礎年金番号	X	10				国民年金の基礎年金番号
142	年金種別	X	1			国民年金種別	国民年金資格の種別を表す
143	年金取得年月日	X	8				国民年金資格を取得した日付
144	年金喪失年月日	X	8				国民年金資格を喪失した日付
145	児童認定資格区分	X	2			児童手当資格区分	識別番号で特定される個人が児童手当認定資格を保有するか否か等の状態区分を示す
146	児童受給開始年月	X	6				児童手当支給を開始する年月情報
147	児童受給終了年月	X	6				児童手当支給を終了する年月情報
148	通称氏名1	N	300				以降、最新の通称を含む16世代を、記載年月日の降順で1から設定。該当しなくなった世代項目は未設定。 外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
149	通称氏名フリガナ1	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
150	記載市区町村コード1	X	10				記載した市区町村コード
151	記載市区町村名1	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
152	記載年月日1	X	8				記載した年月日
153	削除市区町村コード1	X	10				削除した市区町村コード
154	削除市区町村名1	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
155	削除年月日1	X	8				削除した年月日
156	通称氏名2	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
157	通称氏名フリガナ2	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
158	記載市区町村コード2	X	10				記載した市区町村コード
159	記載市区町村名2	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
160	記載年月日2	X	8				記載した年月日
161	削除市区町村コード2	X	10				削除した市区町村コード
162	削除市区町村名2	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
163	削除年月日2	X	8				削除した年月日
164	通称氏名3	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
165	通称氏名フリガナ3	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
166	記載市区町村コード3	X	10				記載した市区町村コード
167	記載市区町村名3	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
168	記載年月日3	X	8				記載した年月日
169	削除市区町村コード3	X	10				削除した市区町村コード
170	削除市区町村名3	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
171	削除年月日3	X	8				削除した年月日
172	通称氏名4	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
173	通称氏名フリガナ4	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
174	記載市区町村コード4	X	10				記載した市区町村コード
175	記載市区町村名4	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
176	記載年月日4	X	8				記載した年月日
177	削除市区町村コード4	X	10				削除した市区町村コード
178	削除市区町村名4	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
179	削除年月日4	X	8				削除した年月日
180	通称氏名5	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
181	通称氏名フリガナ5	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
182	記載市区町村コード5	X	10				記載した市区町村コード
183	記載市区町村名5	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
184	記載年月日5	X	8				記載した年月日
185	削除市区町村コード5	X	10				削除した市区町村コード
186	削除市区町村名5	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
187	削除年月日5	X	8				削除した年月日
188	通称氏名6	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
189	通称氏名フリガナ6	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
190	記載市区町村コード6	X	10				記載した市区町村コード
191	記載市区町村名6	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
192	記載年月日6	X	8				記載した年月日
193	削除市区町村コード6	X	10				削除した市区町村コード
194	削除市区町村名6	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
195	削除年月日6	X	8				削除した年月日
196	通称氏名7	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
197	通称氏名フリガナ7	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
198	記載市区町村コード7	X	10				記載した市区町村コード

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
199	記載市区町村名7	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
200	記載年月日7	X	8				記載した年月日
201	削除市区町村コード7	X	10				削除した市区町村コード
202	削除市区町村名7	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
203	削除年月日7	X	8				削除した年月日
204	通称氏名8	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
205	通称氏名フリガナ8	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
206	記載市区町村コード8	X	10				記載した市区町村コード
207	記載市区町村名8	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
208	記載年月日8	X	8				記載した年月日
209	削除市区町村コード8	X	10				削除した市区町村コード
210	削除市区町村名8	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
211	削除年月日8	X	8				削除した年月日
212	通称氏名9	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
213	通称氏名フリガナ9	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
214	記載市区町村コード9	X	10				記載した市区町村コード
215	記載市区町村名9	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
216	記載年月日9	X	8				記載した年月日
217	削除市区町村コード9	X	10				削除した市区町村コード
218	削除市区町村名9	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
219	削除年月日9	X	8				削除した年月日
220	通称氏名10	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
221	通称氏名フリガナ10	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
222	記載市区町村コード10	X	10				記載した市区町村コード
223	記載市区町村名10	N	100				記載した都道府県名と市区町村名

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
224	記載年月日10	X	8				記載した年月日
225	削除市区町村コード10	X	10				削除した市区町村コード
226	削除市区町村名10	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
227	削除年月日10	X	8				削除した年月日
228	通称氏名11	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
229	通称氏名フリガナ11	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
230	記載市区町村コード11	X	10				記載した市区町村コード
231	記載市区町村名11	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
232	記載年月日11	X	8				記載した年月日
233	削除市区町村コード11	X	10				削除した市区町村コード
234	削除市区町村名11	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
235	削除年月日11	X	8				削除した年月日
236	通称氏名12	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
237	通称氏名フリガナ12	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
238	記載市区町村コード12	X	10				記載した市区町村コード
239	記載市区町村名12	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
240	記載年月日12	X	8				記載した年月日
241	削除市区町村コード12	X	10				削除した市区町村コード
242	削除市区町村名12	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
243	削除年月日12	X	8				削除した年月日
244	通称氏名13	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
245	通称氏名フリガナ13	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
246	記載市区町村コード13	X	10				記載した市区町村コード
247	記載市区町村名13	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
248	記載年月日13	X	8				記載した年月日

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
249	削除市区町村コード13	X	10				削除した市区町村コード
250	削除市区町村名13	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
251	削除年月日13	X	8				削除した年月日
252	通称氏名14	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
253	通称氏名フリガナ14	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
254	記載市区町村コード14	X	10				記載した市区町村コード
255	記載市区町村名14	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
256	記載年月日14	X	8				記載した年月日
257	削除市区町村コード14	X	10				削除した市区町村コード
258	削除市区町村名14	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
259	削除年月日14	X	8				削除した年月日
260	通称氏名15	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
261	通称氏名フリガナ15	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
262	記載市区町村コード15	X	10				記載した市区町村コード
263	記載市区町村名15	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
264	記載年月日15	X	8				記載した年月日
265	削除市区町村コード15	X	10				削除した市区町村コード
266	削除市区町村名15	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
267	削除年月日15	X	8				削除した年月日
268	通称氏名16	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角氏名を設定。
269	通称氏名フリガナ16	N	300				外国人の場合のみ使用。通称全角カナ氏名を設定。
270	記載市区町村コード16	X	10				記載した市区町村コード
271	記載市区町村名16	N	100				記載した都道府県名と市区町村名
272	記載年月日16	X	8				記載した年月日
273	削除市区町村コード16	X	10				削除した市区町村コード

除票用データベース（テーブル定義仕様書）

項番	項目名	データ型	データ長	主キー	必須	コード種別	備考
274	削除市区町村名16	N	100				削除した都道府県名と市区町村名
275	削除年月日16	X	8				削除した年月日